

令和 8 年 度

専攻科学生募集要項 入 学 案 内

独立行政法人 国立高等専門学校機構

久留米工業高等専門学校

目 次

【学生募集要項】

I	募集人員	1
II	入学者の選抜方法	1
	推薦による選抜	2
	推薦による選抜（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコース）	6
	学力による選抜【前期】	8
	学力による選抜【後期】	13
	企業等の推薦による社会人選抜	18
III	入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	21
IV	入学手続き	22
V	その他の注意事項	22
VI	個人情報への取扱い	22

【入学案内】.....23

九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコース	33
---------------------------	----

出願書類

1. 専攻科入学願書
2. 照合票・受験票・入学検定料「振込受付証明書」提出票
3. 調査書
4. 推薦書（推薦選抜）
5. 志望調書（推薦選抜）
6. 推薦書（企業等の推薦による社会人選抜）
7. 出願承認書（学力による選抜（企業等所属者のみ））
8. あて名票
9. 振込依頼書

令和8年度

久留米工業高等専門学校専攻科学生募集要項

入学者受入方針(アドミッション・ポリシー)

久留米高専は次のような人を求めています。

1. 科学技術に対する強い探求心をもち、積極的に取り組む人
2. 専門分野の基礎を修得している人
3. 社会性と倫理観を身につけている人
4. 基礎的なコミュニケーション能力を身につけている人

I 募集定員

機械・電気システム工学専攻 12名
物質工学専攻 8名 計20名
(連携教育プログラム若干名含む)

II 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、高等専門学校長又は学科長の推薦による選抜、学力による選抜(前期・後期)及び企業等の推薦による社会人選抜とし、次の日程で行います。

選 抜 区 分		選 抜 期 日	選抜人数
推 薦 に よ る 選 抜 (連携教育プログラム含む)		令和7年 5月24日(土)	10名程度
〃 (追試験)		令和7年 5月31日(土)	
学 力 に よ る 選 抜	前期	令和7年 5月24日(土)	10名程度
	後期	令和7年10月 4日(土)	
	追試験	令和7年10月12日(日)	
企業等の推薦による社会人選抜		令和7年10月 4日(土)	若 干 名
〃 (追試験)		令和7年10月12日(日)	

※本校卒業見込以外の受験希望者は、願書受付開始日の2週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

推薦による選抜

1. 出願資格

令和8年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、アドミッションポリシーの観点から優れていると認められる者

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・期間 令和7年5月7日（水）から令和7年5月9日（金）まで
- ・時間 9時から17時まで
- ・場所 久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
電話 (0942) 35-9315, 9316

※郵送の場合は、令和7年5月9日（金）消印有効とします。

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の様式に必要事項を本人が記入し、写真を照合票の所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調 査 書	本校所定の様式に在籍学校長が作成し厳封したもの。
④ 推 薦 書	本校所定の様式を使用してください。
⑤ 志 望 調 書	本校所定の様式に必要事項を本人が記入してください。

⑥ 入学検定料	16,500 円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振込んでください。 振込期間は、令和 7 年 4 月 28 日（月）から令和 7 年 5 月 9 日（金）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振込後、本校所定の「振込依頼書」の場合は、「振込受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付し、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を提出してください。 <注意> 1）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の振込依頼書を使用することはできません。 2）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3）不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑦ あて名票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定形封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、460 円切手（簡易書留）を貼付して提出してください。 出願書類一式を窓口を持参する場合は、必要ありません。
⑨ TOEIC スコア (TOEIC IP 含む。)	TOEIC スコア「公式認定証」原本又は「TOEIC IP スコアレポート」原本を提出してください。なお、令和 5 年 4 月以降の公開テストによりスコアを取得し、デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) の写しを提出する場合は、これを原本として受領します。 また、TOEIC スコアは出願期限から 2 年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※TOEIC IP オンラインテストは対象外とする。

⑩ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。
---------	--

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。

3. 選抜方法

調査書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選抜日時及び場所

- (1) 日 時：令和7年5月24日（土） 14時開始
- (2) 場 所：久留米工業高等専門学校
※13時30分までに、学生課前に集合してください。
なお、14時以降の遅刻者は、受験を認めません。

5. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、**令和7年5月24日（土）**実施の推薦による選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、**令和7年5月31日（土）**に追試験を実施します。

ア 学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号。以下「施行規則」という。）第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

・例）月経随伴症状等の体調不良など

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録（領収書・薬袋等）を提出してください。

※該当する場合は、試験当日（14時）までに本校学生課教務係に連絡してください。

6. 選抜結果の発表

令和7年6月3日（火） 10時

合格者の受験番号を本校HPに掲載するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

7. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和7年6月20日（金）17時までに「入学確約書」を学生課教務係へ提出してください。

推薦による選抜（九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコース）

1. 概要

久留米工業高等専門学校（以下、「本校」という。）専攻科に入学する学生を対象に、九州大学工学部融合基礎工学科と本校専攻科にて修学する履修プログラムコース（以下、「連携教育プログラム」という。）を実施します。

連携教育プログラムでは、本校専攻科と九州大学の双方に在籍し、双方の教育課程（連携教育プログラム用）を受講します。片方のみの在籍は認められません。

プログラム所定の課程を修了した者には、九州大学から「学士（工学）」の学位、並びに本校専攻科から修了証書が授与されます。

2. 出願資格

令和8年3月に高等専門学校卒業見込みの者で、アドミッションポリシーの観点から優れており、九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースの学生として、適性があると認められる者。

3. 出願手続

本募集要項「推薦による選抜」（P.2 参照）の「2. 出願手続」によるものとします。

ただし、「⑥入学検定料」の額（九州大学入学者選抜に係る検定料を含み、30,000 円です。）及び「振込依頼書」の所定の様式については異なりますので、注意してください。（「連携教育プログラム用振込依頼書」を利用）

別途、九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜については、「令和8（2026年度九州大学工学部編入学 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜学生募集要項」（以下、「九大募集要項」という。）によるものとします。

4. 選抜方法

調査書・推薦書等提出された書類をもとに面接及び口頭試問を行い、総合的に判定します。

5. 選抜日時及び場所

本募集要項「4. 選抜日時及び場所」（P.4 参照）のとおりとします。

6. 追試験の実施

本募集要項「5. 追試験の実施」（P.4 参照）のとおりとします。

7. 選抜結果の発表

本募集要項「6. 選抜結果の発表」(P.5 参照) のとおりとします。

8. 九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜出願手続き等について

九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラム特別選抜については、九大募集要項を確認してください。

なお、出願手続きには、本校校長の推薦が必要となります。

9. 入学確約書の提出

九州大学入学者選抜（特別選抜）の合格発表後、本校に「入学確約書」の提出を求めます。

10. 注意事項

九州大学への入学を辞退したときは、本校専攻科への入学も辞退したものとします。

学力による選抜【前期】

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者又は令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 7 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記(1)～(6)の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の 2 週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・ 期間 令和 7 年 5 月 7 日（水）から令和 7 年 5 月 9 日（金）まで
- ・ 時間 9 時から 17 時まで
- ・ 場所 久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
〒830-8555 久留米市小森野一丁目 1 番 1 号
電話 (0942) 35-9315, 9316

※郵送の場合は、令和 7 年 5 月 9 日（金）消印有効とします。

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要な事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の様式に必要な事項を本人が記入し、写真を照合票の所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4 cm×横3 cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調 査 書	本校所定の様式に出身(在籍)学校長が作成し厳封したもの。出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了又は見込みであることを証明する証明書を添付してください。
④ 出 願 承 認 書	本校所定の様式を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。(企業等所属者のみ)
⑤ 入 学 検 定 料	16,500 円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振込んでください。 振込期間は、令和7年4月28日（月）から令和7年5月9日（金）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振込後、本校所定の「振込依頼書」の場合は、「振込受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付し、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を提出してください。 <注意> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の振込依頼書を使用することはできません。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局(ゆうちょ銀行)にお尋ねください。
⑥ あ て 名 票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。

⑦ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定形封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、460 円切手（簡易書留）を貼付して提出してください。 出願書類一式を窓口を持参する場合は、必要ありません。
⑧ TOEICスコア (TOEIC IP 含む。)	TOEICスコア「公式認定証」原本又は「TOEIC IP スコアレポート」原本を提出してください。なお、令和5年4月以降の公開テストによりスコアを取得し、デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) の写しを提出する場合は、これを原本として受領します。 また、TOEICスコアは出願期限から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※TOEIC IP オンラインテストは対象外とする。
⑨ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し（コピー不可）を提出してください。

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。

3. 選抜方法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専 攻	出 題 分 野 等	配点
専 門	機 械 ・ 電 気 シ ス テ ム 工 学 専 攻	機械工学系 （機械工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 電気電子工学系 （電気電子工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 制御情報工学系 （制御情報工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※上記 3 系から 1 つの系を出願時に選択	100 点
	物質工学専攻	生物応用化学系 （生物応用化学に関連した問題 5 問から 4 問選択） 材料工学系 （材料工学に関連した問題 5 問から 4 問選択） ※上記 2 系から 1 つの系を出願時に選択	
数 学	各専攻共通	一般数学（確率・統計を除く。）	100 点
英 語	各専攻共通	試験は実施せず、TOEIC スコアに基づく換算得点を用いる。	100 点

4. 学力検査の日時・場所

期 日	科目等	時 間	場 所
令和 7 年 5 月 2 4 日（土）	専 門	9 時 10 分～10 時 30 分	久留米工業高等 専門学校
	数 学	11 時 00 分～12 時 00 分	

※ 検査当日は、学生課前の掲示で検査会場を確認し、8 時 40 分までに検査会場に入室してください。

5. 選抜結果の発表

令和 7 年 6 月 3 日（火） 10 時

合格者の受験番号を本校HPに掲載するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

6. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和7年5月24日（土）の学力による選抜（前期）を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和7年10月4日（土）実施の「学力による選抜（後期）」を受験願います。（その場合、新たな出願の必要はありません。）

ア 施行規則第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

・例）月経随伴症状等の体調不良など

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録（領収書・薬袋等）を提出してください。

※該当する場合は、試験当日（9時）までに本校学生課教務係に連絡してください。

学力による選抜【後期】

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は令和 8 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第 132 条の規定により大学に編入学することができる者又は令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者又は令和 8 年 3 月までに修了見込みの者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該学校の学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (6) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (7) 上記(1)～(6)の他、本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 出願資格(4)～(7)で出願しようとする者は、出願資格等の確認をしますので、必ず願書受付開始日の 2 週間前までに本校学生課教務係へ電話等により照会してください。

2. 出願手続

- (1) 願書の受付
 - ・ 期間 令和 7 年 9 月 16 日（火）から令和 7 年 9 月 18 日（木）
 - ・ 時間 9 時から 17 時まで
 - ・ 場所 久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
〒830-8555 久留米市小森野一丁目 1 番 1 号
電話 (0942) 35-9315, 9316

※郵送の場合は、令和 7 年 9 月 18 日（木）消印有効とします。

- (2) 出願の方法等
 - ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
 - ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の様式に必要事項を本人が記入し、写真を照合票の所定の位置に貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4 cm×横3 cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 調 査 書	本校所定の様式に出身（在籍）学校長が作成し厳封したもの。出願資格(3)により出願する者は、専修学校が発行する修業年限2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700時間以上の専門課程を修了又は見込みであることを証明する証明書を添付してください。
④ 出 願 承 認 書	本校所定の様式を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。（企業等所属者のみ）
⑤ 入 学 検 定 料	16,500 円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振込んでください。 振込期間は、令和7年9月8日（月）から令和7年9月18日（木）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振込後、本校所定の「振込依頼書」の場合は、「振込受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付し、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を提出してください。 <注意> 1) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の振込依頼書を使用することはできません。 2) 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3) 不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。

⑥ あ て 名 票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑦ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定形封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、460 円切手（簡易書留）を貼付して提出してください。 出願書類一式を窓口を持参する場合は、必要ありません。
⑧ T O E I Cスコア (TOEIC IP 含む。)	T O E I Cスコア「公式認定証」原本又は「TOEIC IP スコアレポート」原本を提出してください。なお、令和5年4月以降の公開テストによりスコアを取得し、デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) の写しを提出する場合は、これを原本として受領します。 また、T O E I Cスコアは出願期限から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※TOEIC IP オンラインテストは対象外とする。
⑨ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。

3. 選抜方法

学力検査の結果、出身（在籍）学校長から提出された調査書等をもとに総合的に判定します。

学力検査の科目

検査科目	専攻	出題分野等	配点
専門	機械・電気システム工学専攻	機械工学系 （機械工学に関連した問題5問から4問選択） 電気電子工学系 （電気電子工学に関連した問題5問から4問選択） 制御情報工学系 （制御情報工学に関連した問題5問から4問選択） ※ 上記3系から1つの系を出願時に選択	100点
	物質工学専攻	生物応用化学系 （生物応用化学に関連した問題5問から4問選択） 材料工学系 （材料工学に関連した問題5問から4問選択） ※ 上記2系から1つの系を出願時に選択	
数学	各専攻共通	一般数学（確率・統計を除く。）	100点
英語	各専攻共通	試験は実施せず、TOEICスコアに基づく換算得点を用いる。	100点

4. 学力検査の日時・場所

期 日	科目等	時 間	場 所
令和7年 10月4日（土）	専門	9時10分～10時30分	久留米工業高等 専門学校
	数学	11時00分～12時00分	

※ 検査当日は、学生課前の掲示で検査会場を確認し、8時40分までに会場入室してください。

5. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、令和7年10月4日（土）実施の学力による選抜（後期）を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、令和7年10月12日（日）に追試験を実施します。

- ア 施行規則第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者
- イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

- ・例) 月経随伴症状等の体調不良など

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録（領収書・薬袋等）を提出してください。

※該当する場合は、試験当日（9時）までに本校学生課教務係に連絡してください。

6. 選抜結果の発表

令和7年10月15日（水） 10時

合格者の受験番号を本校HPに掲載するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

（電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。）

企業等の推薦による社会人選抜

1. 出願資格

学力検査による選抜の出願資格（P.8 参照）のいずれかに該当する者で、企業等の所属の長が勤務成績、人物ともに優れていると推薦する者。

2. 出願手続

(1) 願書の受付

- ・ 期間 令和7年9月16日（火）から令和7年9月18日（木）
- ・ 時間 9時から17時まで
- ・ 場所 久留米工業高等専門学校 学生課 教務係
〒830-8555 久留米市小森野一丁目1番1号
電話 (0942) 35-9315, 9316

※郵送の場合は、令和7年9月18日（木）消印有効とします。

(2) 出願の方法等

- ① 志願者は、出願に必要な書類等を整え、提出してください。
- ② 郵送する場合は書留郵便とし、封筒表面に「専攻科出願書類在中」と朱書きしてください。

(3) 出願に必要な書類等

書 類 等	摘 要
① 入 学 願 書	本校所定の様式に必要事項を本人が記入してください。
② 照 合 票 受 験 票 入学検定料「振込受付証明書」提出票	本校所定の様式に必要事項を本人が記入し、照合票には、写真を貼付してください。写真は、上半身・脱帽・正面向き（縦4cm×横3cm）で出願以前3か月以内に撮影したものを使用してください。
③ 卒 業 証 明 書	出身学校長が作成したもの。
④ 成 績 証 明 書	出身学校長が作成し厳封したもの。
⑤ 推 薦 書 (企業等所属者)	本校所定の様式を使用し、企業等の所属の長が作成したもの。

⑥ 入 学 検 定 料	16,500 円 本校所定の「振込依頼書」又は郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」により志願者本人の氏名で金融機関窓口から振込んでください。 振込期間は、令和7年9月8日（月）から令和7年9月18日（木）までとします。 金融機関窓口の営業時間に十分注意してください。 振込後、本校所定の「振込依頼書」の場合は、「振込受付証明書」（学校提出用）を入学検定料「振込受付証明書」提出票に貼付し、郵便局（ゆうちょ銀行）に備え付けの「振込依頼書」の場合は、「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を提出してください。 <注意> 1）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、本校所定の振込依頼書を使用することはできません。 2）郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込は、口座からのみ可能で、現金による振込はできません。 ご利用の際は、『通帳とお届け出印』又は『キャッシュカード』が必要です。 3）不明な点につきましては、郵便局（ゆうちょ銀行）にお尋ねください。
⑦ あ て 名 票	諸連絡に使用するので、正確に記入してください。
⑧ 受験票送付用封筒	受験票の郵送を希望する志願者は、定形封筒に住所と氏名及び郵便番号を明記し、460 円切手（簡易書留）を貼付して提出してください。 出願書類一式を窓口に持参する場合は、必要ありません。
⑨ T O E I Cスコア (TOEIC IP 含む。)	T O E I Cスコア「公式認定証」原本又は「TOEIC IP スコアレポート」原本を提出してください。なお、令和5年4月以降の公開テストによりスコアを取得し、デジタル公式認定証 (Digital Official Score Certificate) の写しを提出する場合は、これを原本として受領します。 また、T O E I Cスコアは出願期限から2年以内に実施された試験のスコアを有効とします。 ※TOEIC IP オンラインテストは対象外とする。
⑩ そ の 他	現に日本国に在住している外国人は、市区町村長の発行する住民票の写し(コピー不可)を提出してください。

(4) 出願に関する注意事項

- ① 出願書類の不備なものは受け付けません。
- ② 提出した出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更は認めません。
- ④ 記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を＝線で抹消し、押印の上、訂正事項を記入してください。
- ⑤ 願書受付後は、出願書類及び入学検定料は返還しません。

3. 選抜方法

成績証明書・推薦書等提出された書類をもとに面接を行い、総合的に判定します。

4. 選抜日時及び場所

- (1) 日 時：令和7年10月4日（土） 14時開始
 - (2) 場 所：久留米工業高等専門学校
- ※13時30分までに、学生課前に集合してください。
なお、14時以降の遅刻者は、受験を認めません。

5. 追試験の実施

インフルエンザウイルスや新型コロナウイルスの感染症等を理由として、**令和7年10月4日（土）**実施の企業等の推薦による社会人選抜を受験できなかった場合の対応として、以下に該当する者は、**令和7年10月12日（日）**に追試験を実施します。

ア 施行規則第十八条に定める感染症に罹患、又は罹患している疑いがあり、本試験を受験できない者

イ その他、受験者自身の責めに帰することができない理由で本試験を受験できず、追試験の受験を申請した者で、本校がその申請を認めた者

・例）月経随伴症状等の体調不良など

※上記について証明するものとして医療機関等の受診記録（領収書・薬袋等）を提出してください。

※該当する場合は、試験当日（14時）までに本校学生課教務係に連絡してください。

6. 選抜結果の発表

令和7年10月16日（木） 10時

合格者の受験番号を本校HPに掲載するとともに、全受験者に対して、選抜の結果を当日発送の文書により通知します。

(電話・ファクシミリ等による問い合わせには応じません。)

7. 入学確約書の提出

合格通知書を受けた者は、令和7年10月31日(金)17時までに「入学確約書」を学生課教務係へ提出してください。

Ⅲ 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

久留米工業高等専門学校では、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」「文部科学省所管事業分野における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応指針」及び、「独立行政法人国立高等専門学校機構における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に則り、障害等による支援ニーズのある学生に対して、受験上または修学上の合理的配慮の提供を行っています。

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、早めに久留米高専学生課教務係までご相談ください。なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、入学願書提出期限の一か月前にあたる令和7年4月9日(推薦による選抜及び学力による選抜【前期】の場合)または令和7年8月18日(学力による選抜【後期】及び企業等の推薦による社会人選抜の場合)を過ぎてからの相談及び申請では準備期間が短くなり、希望する合理的配慮を受けられず、安心して試験を受けられなくなる可能性があることに注意してください。

必要に応じて、学生、学生の保護者及び在籍する学校関係者に対して、相談された内容について質問する場合がありますが、合理的配慮に関する申請及び問い合わせ内容は入学者選抜の可否判定には一切影響ありません。

入試の公平性を担保するため、合理的配慮提供の根拠となる資料の提出を求める場合があります。必要となる根拠資料に関しては、文部科学省「障害のある学生の修学支援に関する検討会報告(第二次まとめ)」によって示されている、1)障害者手帳の種別・等級・区分認定、2)適切な医学的診断基準に基づいた診断書、3)標準化された心理検査等の結果、4)専門家の所見、5)中学校、特別支援学校中等部等入学前の支援状況に関する資料、6)本人が自らの障害の状況を客観的に把握・分析した説明資料等が該当します。

※根拠資料に関しては提出の要不要に関しても入試担当窓口までご相談ください。ご提出いただく根拠資料としての要件を満たしているかどうか、担当係において確認いたします。満たしていない場合は、その理由を明示したうえで再提出を求めることがあります。

(お願い)

入学後に修学上の合理的配慮が必要な場合には、合理的配慮提供のための準備を十分に行うために、出願前の可能な限り早い段階で「事前相談」を受けられることをお勧めします。入試後、または入学後に合理的配慮に関して初めて申請なされると、修学に必要な支援を十分に受けられなくなる可能性があります。なお、事前相談を受けられても、入学者選抜の合否判定には一切影響ありません。

相談窓口(担当係名)学生課教務係(電話番号) 0942-35-9315・9316

(FAX)0942-35-9319 (MAIL)Q.kyoumu@ON.kurume-nct.ac.jp

IV 入学手続き

合格者は、令和8年3月17日(火)10時に出校し、入学に要する諸手続きを行ってください。

なお、当日入学手続きを行わない者は、入学を許可しません。

V その他の注意事項

- 1 入学願書提出後に、住所(郵便受取先)を変更したときは、直ちに、本校学生課教務係に届け出てください。
- 2 選抜当日「受験票」を必ず携行してください。
- 3 受験のための宿舎は斡旋しないので、各自で手配してください。

VI 個人情報の取扱い

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の業務として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。

- 1 入学後の教育・指導
- 2 入学料、授業料の免除申請の審査
- 3 奨学金申請の審査
- 4 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

入 学 案 内

1. 専攻科の教育目的

次のような実践的、創造的技術者を育成する。

- (1) 先端技術及び高度情報化に対応できる技術者
- (2) 創造的研究開発能力を持った技術者
- (3) 国際化に対応できる技術者

2. 設置

平成5年4月

3. 専攻名

機械・電気システム工学専攻

物質工学専攻

4. 修業年限及び修了要件

- (1) **修業年限** 2年
- (2) **修了要件** 学則に従い62単位以上修得

※九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースについては、P.33以降を参照してください。

5. 教育課程

専攻科の単位を修得し修了するには、機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻の各系（以下「コース」という。）のいずれかを履修しなければなりません。機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻で履修するコースは以下のとおりです。

機械・電気システム工学専攻：機械工学コース

電気電子工学コース

制御情報工学コース

物 質 工 学 専 攻 ：生物応用化学コース

材料工学コース

※九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースについては、P.33以降を参照してください。

掲載する授業科目は、令和7年度の教育課程であり、今後、一部変更する場合があります。

(1)一般科目及び専門基礎科目（各専攻共通）

一般科目及び専門基礎科目
(各コース共通)

令和7年度入学生

授 業 科 目			授 業 形 態	単 位 数	学 年 別 配 当		備 考
					1 年 次	2 年 次	
一 般 科 目	必 修	実践英語Ⅰ	講義	2	2		
		実践英語Ⅱ	講義	2	2		
		実践英語Ⅲ	講義	2		2	
	一 般 科 目 必 修 単 位 計			6	4	2	
	選 択	日本語コミュニケーション	講義	2		2	} 2単位以上修得
		生涯スポーツ特論	講義	2		2	
		専攻科特論一般Ⅰ	講義 又は演習	2	2		4 単位以内
		専攻科特論一般Ⅱ	講義 又は演習	2		2	
	一 般 科 目 選 択 開 設 単 位 計			8	2	6	
専 門 基 礎 科 目	必 修	地球環境と現代生物学	講義	2	2		
		現代物理学	講義	2	2		
		応用情報処理演習	演習	2	2		
		専 門 基 礎 科 目 必 修 単 位 小 計		6	6	0	
	選 択	応用数理Ⅰ	講義	2	2		} 10 単位以上修得
		応用数理Ⅱ	講義	2	2		
		応用数理Ⅲ	講義	2		2	
		量子力学	講義	2	2		
		教養化学	講義	2	2		
		画像工学	講義	2	2		
		応用情報処理	講義	2	2		
		統計力学及び熱力学	講義	2		2	
		専攻科特論専門Ⅰ	講義	2		2	4 単位以内
		専攻科特論専門Ⅱ	講義	2		2	
	専 門 基 礎 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計			20	12	8	
	専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 計			26	18	8	
	一 般 科 目 、 専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 合 計			40	24	16	

(2)専門科目

機械・電気システム工学専攻

令和7年度入学生

授 業 科 目			授業形態	単位 数	学年別配当		備 考		
					1 年次	2 年次			
必修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2					
	技 術 英 語	演習	1		1				
	先 端 工 学 特 論	講義	2	2					
	専 攻 科 研 究 基 礎	実験	4	4					
	専 攻 科 研 究 論 文	実験	10		10	学位申請等論文			
専 門 科 目 必 修 単 位 小 計			19	8	11				
専門 科目 選択 目 次	弾 塑 性 力 学	講義	2	2		A	*	*	
	破 壊 力 学	講義	2	2		A	*	*	
	応 用 流 動 工 学	講義	2	2		A	*	*	
	生 産 加 工 学	講義	2		2	A	*	*	
	移 動 現 象 論	講義	2	2		A	*	*	
	計 算 力 学	講義	2		2	A	S	*	
	設 計 シ ス テ ム 工 学	講義	2	2		A	*	E	
	メカトロニクス工学	講義	2		2	A	S	E	
	シ ス テ ム 制 御 工 学	講義	2	2		A	S	E	
	デ ジ タ ル 制 御	講義	2	2		A	S	E	
	労 働 安 全 衛 生 論	講義	2		2	A	*	*	
	コンピュータグラフィックス	講義	2		2	*	S	*	
	パ タ ー ン 認 識	講義	2		2	*	S	*	
	形式言語とオートマトン	講義	2	2		*	S	E	
	デ ー タ ベ ー ス	講義	2	2		*	S	*	
	応 用 電 磁 気 学	講義	2	2		*	S	E	
	光エレクトロニクス	講義	2		2	*	*	E	
	集 積 回 路 工 学	講義	2	2		*	*	E	
	デジタル信号処理	講義	2	2		*	S	E	
	ブ ラ ズ マ 工 学	講義	2		2	*	*	E	
	機 械 工 学 特 論	講義	2	2		集中講義			
	電 気 電 子 工 学 特 論	講義	2	2		集中講義			
	制 御 情 報 工 学 特 論	講義	2	2		集中講義			
	専 攻 科 インターシップ	実習	2	2		A	S	E	
	専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計			48	32	16	Aの区分30単位及びSとE各区分28単位から14単位以上修得のこと。		
	専 門 基 礎 科 目 開 設 単 位 計			67	40	27			
全開設単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）			109	62	45				
全科目修得単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）			62単位以上						
全開設単位合計（機械工学系）			89	54	35	備考欄の*は、他コース扱いの科目（4単位以内）			
全開設単位合計（制御情報系）			87	52	35				
全開設単位合計（電気電子系）			87	54	33				

※Aは機械工学系、Sは制御情報系、Eは電気電子系の履修科目を示す。

物質工学専攻

令和7年度入学生

授 業 科 目		授業 形態	単 位 数	学年別配当		備 考			
				1年次	2年次				
専 門 科 目	必 修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2				
		技 術 英 語	演習	1		1			
		先 端 工 学 特 論	講義	2	2				
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	4	4				
		専 攻 科 研 究 論 文	実験	10		10	学位申請等論文		
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		19	8	11			
	選 択	有 機 反 応 化 学	講義	2	2		C	*	
		有 機 構 造 化 学	講義	2		2	C	*	
		生 体 機 能 分 子 学	講義	2	2		C	*	
		生 体 物 質 化 学	講義	2	2		C	*	
		化 学 工 学 特 論	講義	2		2	C	*	
		機 能 有 機 材 料 特 論	講義	2	2		C	*	
		分 子 生 物 学	講義	2		2	C	*	
		分 子 機 能 化 学	講義	2		2	C	M	
		高 分 子 材 料 特 論	講義	2	2		C	M	
		応 用 物 理 化 学	講義	2		2	C	M	
		機 能 性 無 機 材 料 学	講義	2	2		C	M	
		半 導 体 材 料	講義	2	2		C	M	
		材 料 組 織 制 御	講義	2		2	*	M	
		構 造 材 料 学	講義	2	2		*	M	
		触 媒 材 料 化 学	講義	2	2		*	M	
		表 面 処 理 工 学	講義	2	2		*	M	
		高 温 強 度 学	講義	2		2	*	M	
		輸 送 現 象 論	講義	2	2		*	M	
		結 晶 構 造 解 析 学	講義	2	2		*	M	
		生 物 応 用 化 学 特 論	講義	2	2		集中講義		
		材 料 工 学 特 論	講義	2	2		集中講義		
		専 攻 科 インターンシップ	実習	2	2		C	M	
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計		44	30	14	C及びMともそれぞれ30単位中14単位以上修得のこと。		
		専 門 科 目 開 設 単 位 計			63	38	25		
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)				103	62	41			
全科目修得単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)				62単位以上					
全開設単位合計(生物応用化学系)				89	52	37	備考欄の*は他専攻扱いの科目(4単位以内)		
全開設単位合計(材料工学系)				89	54	35			

※ Cは生物応用化学系、Mは材料工学系の履修科目を示す。

修了認定の方針（ディプロマポリシー）

専攻科では、自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を備えて、社会に貢献でき、先端技術及び高度情報化に対応し、国際的に活躍できる実践的・創造的研究開発能力を持った技術者を育成します。そのために、各専攻に関連する専門知識及び実践技術を身につけ、所定の単位を修得した学生に修了を認定します。

機械・電気システム工学専攻

機械・電気システム工学専攻では、機械工学、電気電子工学、制御情報工学の各コースに関連する専門知識及び実践技術を修得した学生の修了を認定します。

1. 技術者としての広い視野と倫理観を身につけ、それらに従って行動できる。
2. 数学、物理、情報処理に関連する基礎知識を身につけ、応用できる。
3. 各コースに関連する専門知識を習得し、職業上応用できる。
4. 工学基礎、ならびに機械工学の専門知識、電気電子工学の専門知識、制御情報工学の専門知識などを活用し、社会の要求する課題を解決できる。
5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力が備わっている。

物質工学専攻

物質工学専攻では、生物応用化学、材料工学の各コースに関連する専門知識及び実践技術を修得した学生の修了を認定します。

1. 技術者としての広い視野と倫理観を身につけそれらに従って行動できる。
2. 数学、物理、化学、情報処理に関連する基礎知識と応用力を身につけ、応用できる。
3. 各コースに関連する専門知識を習得し、職業上応用できる。
4. 工学基礎、ならびに生物応用化学の専門知識、材料工学の専門知識などを活用し、社会の要求する課題を解決できる。
5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力が備わっている。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

ディプロマポリシーに掲げた能力を育成するため、一般科目及び専門基礎科目において工学に関連する基礎学力、語学力、社会的責任への理解力を養うとともに、各専攻では、それぞれの分野に関連する実践的能力を養うための専門科目を配置しています。専攻科では、先端技術及び高度情報化に対応し、国際的に活躍できる実践的、創造的研究開発能力を持った技術者を育成するために、専攻ごとに必要な科目を体系的に配置した教育課程を編成します。

機械・電気システム工学専攻

1. 技術者としての広い視野と倫理観を修得できるように
 - (1) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
2. 数学、物理、情報処理に関連する基礎知識と応用力を修得できるように
 - (1) 高度な理数系科目及び自然科学系科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 高度情報化に対応するため、情報処理の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。
3. 各コースに関連する専門知識の習得と職業上応用できる基礎能力を身につけることができるように
 - (1) 機械分野、電気電子分野、制御情報分野の専門科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 先端技術の知識を習得するための科目を設け、オムニバス形式の講義を主とした学修方法により教授します。
4. 工学基礎、ならびに機械工学の専門知識、電気電子工学の専門知識、制御情報工学の専門知識などを活用し、社会の要求に対応できる問題解決能力を修得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
5. 専門分野に関連するプレゼンテーション能力と国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション能力を習得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。

- (2) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。

物質工学専攻

1. 技術者としての広い視野と倫理観を修得できるように
 - (1) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
2. 数学、物理、化学、情報処理に関連する基礎知識と応用力を修得できるように
 - (1) 高度な理数系科目及び自然科学系科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 高度情報化に対応するため、情報処理の専門科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。
3. 各専門コースに関連する応用知識の習得と職業上応用できる基礎能力を修得できるように
 - (1) 生物応用化学分野、材料工学分野の専門科目を設け、講義を主とした学修方法により教授します。
 - (2) 先端技術の知識を習得するための科目を設け、オムニバス形式の講義を主とした学修方法により教授します。
4. 工学基礎、各専門分野の基礎と専門知識などを活用し、社会の要求を解決するための企画力を修得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 創造的研究開発能力を身につけるための科目を設け、実験を主とした学修方法により教授します。
5. 専門技術に関連するプレゼンテーションと国際化に対応できる基礎的なコミュニケーションをする能力を習得できるように
 - (1) 専攻科研究の科目を設け、論理的説明力及びプレゼンテーション能力を育成する観点から、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開します。
 - (2) 豊かな教養や国際性を涵養する科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により教授します。

教育目標

(1) 機械工学コース

- ア 技術者倫理
- イ 数学、物理、情報処理に関する知識と応用力
- ウ 機械工学に関する専門知識の習得と職業上応用できる基礎能力の育成
- エ 工学的な解析能力・考察力の育成及び機器操作の習得
- オ 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施できる。
- カ 種々の工学的知識や技術を利用し、自己学習やグループ学習により社会の要求を解決できる。
- キ 専門技術に関するプレゼンテーションと国際化に対応できる基礎的なコミュニケーション
- ク 与えられた条件のもとで技術者として地域社会に貢献できる。

(2) 電気電子工学コース

- ア 先端の電気エネルギーをマネジメントできる電気電子技術の習得
- イ 先端の情報通信・電子機器を活用できる電気電子技術の習得
- ウ もの、製品をベースにした技術実務能力の習得
- エ 電気電子技術の基礎となる学力の修得
- オ 技術に関するコミュニケーション能力の育成
- カ 技術者倫理感覚の育成
- キ 企画・管理能力の育成

(3) 制御情報工学コース

- ア 技術者としての広い視野と倫理観
- イ 基礎工学の知識と応用力
- ウ 専門工学の知識と応用力
- エ 学んだ知識や技術をベースにして社会の要求に対する解決法を立案し、実現までの手順を計画することができる。
- オ コミュニケーション力
- カ 実践力

(4) 生物応用化学コース

- ア 技術者倫理と多面的視野
- イ 生物応用化学基礎と工学基礎
- ウ 生物応用化学の専門知識と応用力
- エ 生物応用化学基礎、工学基礎、生物応用化学の専門知識を活用し、社会の要求を解決す

- るための企画力を持っている。
- オ 国際化に対応できるコミュニケーション基礎能力を習得する。
- カ 自主的にテーマを企画立案し、創造的かつ継続的に実施することができる。
- キ 地域社会を中心とした産業界に技術者として広く貢献できる。

(5) 材料工学コース

- ア 自然科学及び情報処理技術に関する知識
- イ 材料に関する基本的知識と応用力
- ウ 工学的な基礎原理・現象を実験によって理解できる能力を身に付ける。
- エ 調査及び実行能力
- オ 外国に関する知識及び国際的コミュニケーションの基礎能力を身に付ける。
- カ 多面的視野と技術者倫理
- キ インターンシップなどの実務経験を通して、多面的に物事を考える能力を身に付ける。

6. 「学士」の学位取得

本校専攻科は、専攻科修了と所定の手続きを行い、大学改革支援・学位授与機構の審査により修了時に学士の学位を取得することができます。

※九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースについては、P. 33 以降を参照してください。

7. 入学時に必要な経費

費 目	金 額	摘 要
入 学 料	84,600円	
授 業 料	前期分 117,300円	(年額 234,600円)
教 科 書 代 等	約 30,000円	
そ の 他 校 納 金	約 33,000円	
合 計	約 264,900円	

※上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

※九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースについては、P. 33 以降を参照してください。

8. 高等教育の修学支援制度

令和2年4月1日から、高専の4・5年生及び専攻科生が対象となる授業料等減免制度の新設及び給付型奨学金の支給拡充が実施されています。詳細については、

文部科学省ホームページ「高等教育の修学支援新制度」を参照願います。

https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/hutankeigen/index.htm

9. 入学料及び授業料減免制度

- (1) 入学前1年以内において、学資負担者が死亡した場合又は入学者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合には、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。
- (2) 授業料の各期の納付期限前6月以内（新入学生に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は、入学前1年以内）において、学資負担者が死亡した場合又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けた場合等は、選考の上、授業料の全額又は半額を免除することがあります。

※九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコースについては、P. 33以降を参照してください。

10. 独立行政法人日本学生支援機構奨学金制度

独立行政法人日本学生支援機構の奨学金制度は、勉学に励む意欲があり、またそれにふさわしい能力を持った学生が経済的理由により修学をあきらめることのないよう支援することを目的として国が実施する制度です。

詳細は日本学生支援機構ホームページをご確認ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/index.html>

11. 学生寮

本校敷地内に寄宿舎があります。

男子寮（4階建）は、1室1名用、2名用と3名用のあわせて140室、収容定員は、210名です。また女子寮（3階建）は、1室1名用と2名用あわせて22室、収容定員は30名です。ただし、専攻科生は原則として1名部屋となります。

入寮に関しては、選考があります。ご希望に添えない場合もあります。

費 目	月 額	摘 要
寄 宿 料	8 0 0 円	1 名 部 屋
	7 0 0 円	1 名 部 屋 以 外
給 食 費	約 4 0, 0 0 0 円	朝・昼・夕食付
光 熱 水 料 費 等	8, 0 0 0 円	エアコンのリース代を含む。
合 計	約 4 8, 8 0 0 円	

(注1) 上記のほか、入寮時に入寮費1,000円が必要です。

(注2) 上記の納付金額は、入寮時及び在寮中に改定される場合があります。

【九大工学部・九州沖縄9高専連携教育プログラムコース】

募集要項入学案内（P.23 参照）のとおりですが、次の項目が異なりますので注意してください。

4. 修業年限及び修了要件 (2)修了要件

【専攻科修了要件および九州大学卒業要件】

専攻科が定める修了要件において連携教育プログラムについては、九州大学の卒業要件 57 単位を含む 62 単位以上（高専設置科目 24 単位以上、共同設置科目 8 単位以上、九州大学設置科目 30 単位以上）を修得する必要があります。

5. 教育課程

専攻科（連携教育プログラム）の単位を修得し修了するには、機械・電気システム工学専攻及び物質工学専攻の以下に示すコースのいずれかを履修しなければなりません。

機械・電気システム工学専攻：連携教育プログラム機械工学コース

連携教育プログラム電気電子工学コース

連携教育プログラム制御情報工学コース

物質工学専攻：連携教育プログラム生物応用化学コース

連携教育プログラム材料工学コース

連携教育プログラムに係る専攻科の教育課程については、「教育課程（連携教育プログラム用）」（P.35 参照）を参照してください。

なお、掲載する授業科目等は、今後、一部変更する場合があります。

また、これらの履修するコースで所定の単位を修得し、かつ、九州大学の卒業要件を満たせば、本校から修了証書及び九州大学から学士の学位が授与されます。

6. 「学士」の学位取得

前述のとおり、九州大学から学士の学位が授与されます。

7. 入学時に必要な経費

【入学時に要する費用】

費 目	金 額	摘 要
入 学 料	2 8 2, 0 0 0 円	(九州大学に納付)
授 業 料	2 6 7, 9 0 0 円	(九州大学に納付) 【年額 5 3 5, 8 0 0 円】
教 科 書 代 等	約 3 0, 0 0 0 円	

そ の 他 校 納 金	約 3 3, 0 0 0 円	本校に納付
合 計	約 6 1 2, 9 0 0 円	

※ 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。

9. 入学料及び授業料減免制度

九州大学での手続きとなりますので、九州大学から届く通知を確認してください。

※個人用パソコン（ノート型）の必携について

九州大学では個人用パソコン（ノート型）が必携となっています。推奨スペック等については、九州大学 WEB サイトを確認してください。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/targets/student>

(1)一般科目及び専門基礎科目（各専攻共通連携教育プログラム）

授 業 科 目			授業形態	単 位 数	学 年 別 配 当		連携教育 プログラム 認定科目	備 考
					1 年 次	2 年 次		
一般科目	必修	実践英語Ⅰ	講義	2	2		○	
		実践英語Ⅱ	講義	2	2		○	
	一般科目必修単位計			4	4	0		
	選択	日本語コミュニケーション	講義	2		2		
		生涯スポーツ特論	講義	2		2		
	一般科目選択開設単位計			4	0	4		
専門基礎科目	必修	現代物理学	講義	2	2		○	
		応用情報処理演習	演習	2	2		□	
		専門基礎科目必修単位小計			4	4	0	
	選択	応用数理Ⅰ	講義	2	2		○	
		応用数理Ⅱ	講義	2	2		○	
		応用数理Ⅲ	講義	2		2		
		量子力学	講義	2	2		○	
		教養化学	講義	2	2			
		画像工学	講義	2	2		○	
		応用情報処理	講義	2	2		□	
		統計力学及び熱力学	講義	2		2		
		専門基礎科目選択開設単位小計			16	12	4	
	専門基礎科目開設単位計			20	16	4		
一般科目、専門基礎科目開設単位合計			28	20	8			

連携教育プログラム認定科目

○ 高専設置科目

□ 共同設置科目

(2)専門科目（機械・電気システム工学専攻連携教育プログラム）

授 業 科 目			授業形態	単位数	学年別配当		連携教育プログラム認定科目	備 考			
					1年次	2年次					
専 門 科 目	必修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2						
		先 端 工 学 特 論	講義	2	2		○				
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	4	4		□				
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計		8	8						
	選択	弾 塑 性 力 学	講義	2	2		○	A	*	*	
		破 壊 力 学	講義	2	2		○	A	*	*	
		応 用 流 動 工 学	講義	2	2		○	A	*	*	
		生 産 加 工 工 学	講義	2		2		A	*	*	
		移 動 現 象 論	講義	2	2		○	A	*	*	
		計 算 力 学	講義	2		2		A	S	*	
		設 計 シ ス テ ム 工 学	講義	2	2		○	A	*	E	
		メ カ ト ロ ニ ク ス 工 学	講義	2		2		A	S	E	
		シ ス テ ム 制 御 工 学	講義	2	2		○	A	S	E	
		デ ジ タ ル 制 御	講義	2	2		○	A	S	E	
		労 働 安 全 衛 生 論	講義	2		2		A	*	*	
		コ ン ピ ュ ー タ グ ラ フ ィ ッ ク ス	講義	2		2		*	S	*	
		パ タ ー ン 認 識	講義	2		2		*	S	*	
		形 式 言 語 と オ ー ト マ ト ン	講義	2	2		○	*	S	E	
		デ ー タ ベ ー ス	講義	2	2		○	*	S	*	
		応 用 電 磁 気 学	講義	2	2		○	*	S	E	
		光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	講義	2		2		*	*	E	
		集 積 回 路 工 学	講義	2	2		○	*	*	E	
		デ ジ タ ル 信 号 処 理	講義	2	2		○	*	S	E	
		ブ ラ ズ マ 工 学	講義	2		2		*	*	E	
		機 械 工 学 特 論	講義	2	2				集中講義		
		電 気 電 子 工 学 特 論	講義	2	2				集中講義		
		制 御 情 報 工 学 特 論	講義	2	2				集中講義		
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計				46	30	16			
		専 門 科 目 開 設 単 位 計				54	38	16			
全開設単位合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)				82	58	24					
全 開 設 単 位 合 計 (機 械 工 学 系)				64	48	16					
全 開 設 単 位 合 計 (制 御 情 報 系)				62	46	16					
全 開 設 単 位 合 計 (電 気 電 子 系)				62	48	14					
連携教育プログラム科目 (九州大学設置科目)				30	30						
修得単位数合計(一般科目、専門基礎科目を含む。)				62単位以上							

※ Aは機械工学コース、Sは制御情報工学コース、Eは電気電子工学コースの履修科目を示す。

連携教育プログラム認定科目

○ 高専設置科目

□ 共同設置科目

(3)専門科目（物質工学専攻連携教育プログラム）

授 業 科 目			授業 形態	単 位 数	学年別配当		連携教育 プログラム 認定科目	備 考	
					1年次	2年次			
専 門 科 目	必 修	創 造 工 学 実 験	実験	2	2				
		先 端 工 学 特 論	講義	2	2		○		
		専 攻 科 研 究 基 礎	実験	4	4		□		
		専 門 科 目 必 修 単 位 小 計			8	8	0		
	選 択	有 機 反 応 化 学	講義	2	2		○	C	*
		有 機 構 造 化 学	講義	2		2		C	*
		生 体 機 能 分 子 学	講義	2	2			C	*
		生 体 物 質 化 学	講義	2	2		○	C	*
		化 学 工 学 特 論	講義	2		2		C	*
		機 能 有 機 材 料 特 論	講義	2	2		○	C	*
		分 子 生 物 学	講義	2		2		C	*
		分 子 機 能 化 学	講義	2		2		C	M
		高 分 子 材 料 特 論	講義	2	2		○	C	M
		応 用 物 理 化 学	講義	2		2		C	M
		機 能 性 無 機 材 料 学	講義	2	2		○	C	M
		半 導 体 材 料	講義	2	2		○	C	M
		材 料 組 織 制 御	講義	2		2	○	*	M
		構 造 材 料 学	講義	2	2			*	M
		触 媒 材 料 化 学	講義	2	2		○	*	M
		表 面 処 理 工 学	講義	2	2		○	*	M
		高 温 強 度 学	講義	2		2		*	M
		輸 送 現 象 論	講義	2	2		○	*	M
		結 晶 構 造 解 析 学	講義	2	2		○	*	M
		生 物 応 用 化 学 特 論	講義	2	2			集中講義	
		材 料 工 学 特 論	講義	2	2			集中講義	
		専 門 科 目 選 択 開 設 単 位 小 計			42	28	14		
	専 門 科 目 開 設 単 位 計			50	36	14			
全開設単位合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）				78	56	22			
開 設 単 位 合 計（生物応用化学系）				64	46	18			
開 設 単 位 合 計（材料工学系）				64	48	16			
連携教育プログラム科目 （九州大学設置科目）				30	30				
修得単位数合計（一般科目、専門基礎科目を含む。）				62単位以上					

※ Cは生物応用化学コース、Mは材料工学コースの履修科目を示す。

連携教育プログラム認定科目

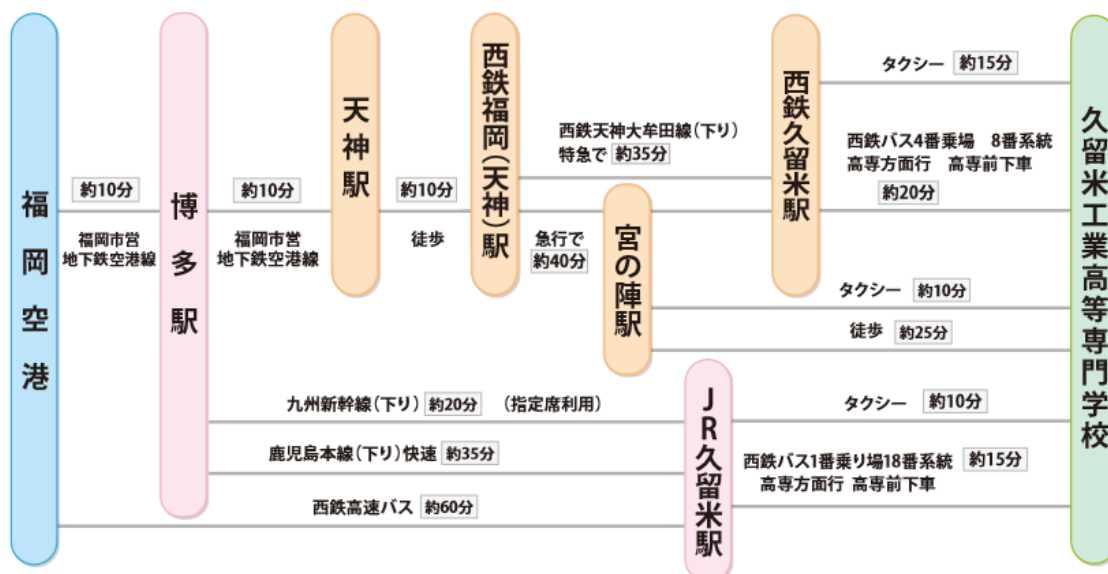
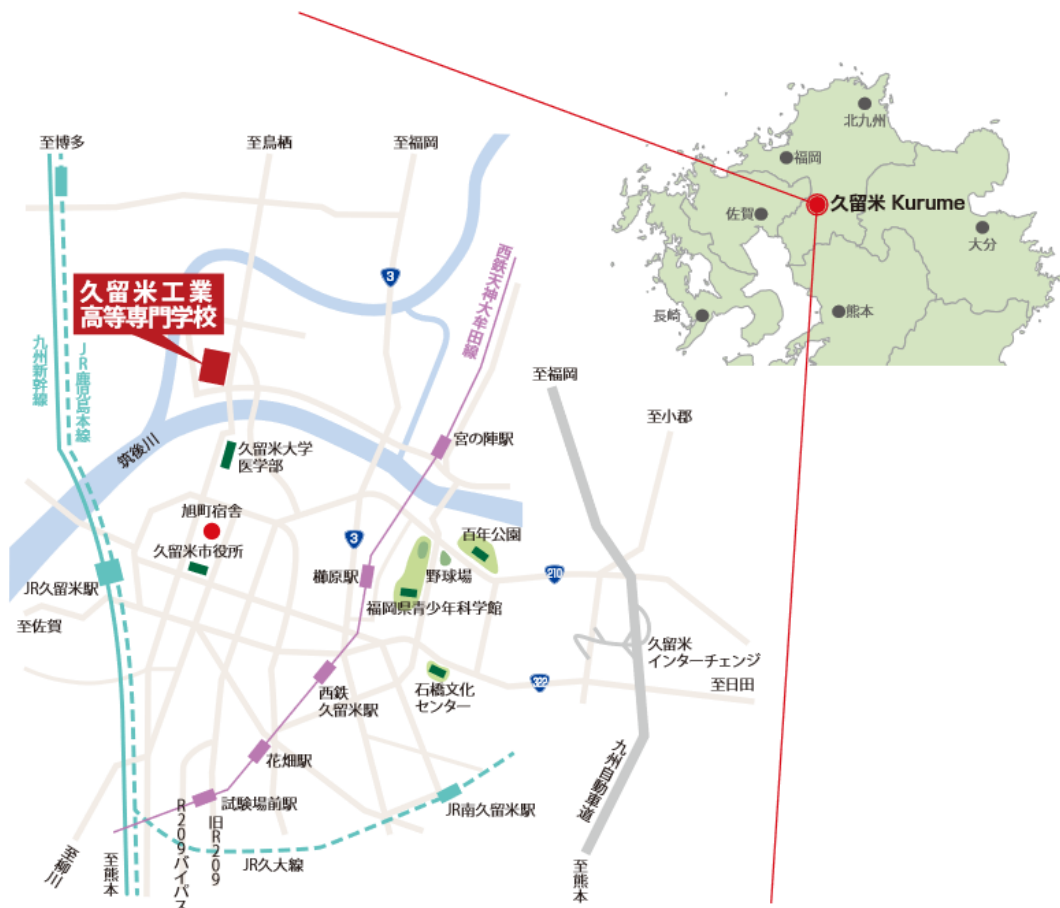
○ 高専設置科目

□ 共同設置科目

(4)九州大学設置科目（学科共通科目）

科目区分	必修・選択	授業科目名	授業形態	単位数	学年別配当		備考
					3 年次 (専攻科 1 年次)	4 年次 (専攻科 2 年次)	
学科・専攻科目	必修	融合工学概論Ⅰ	遠隔講義	2	2		(3年次前期開講) (※)
		融合工学概論Ⅱ	遠隔講義	2	2		(3年次後期開講) (※)
		インターンシップⅠ(長期)	実習	3	3		(※)
		研究プロジェクト	演習 実験	4		4	
		グローバル科目Ⅰ(論文)	講義 演習	1		1	
		グローバル科目Ⅱ(討論)	講義 演習	1		1	
	選択	先端計測科学	講義	1		1	
		エネルギー・環境学A	講義	1		1	
		エネルギー・環境学B	講義	1		1	
		半導体・デバイス工学A	講義	1		1	
		半導体・デバイス工学B	講義	1		1	
		プラズマ応用工学	講義	1		1	
		融合応用情報学A	講義 演習	1		1	
		融合応用情報学B	講義 演習	1		1	
		融合応用情報学C	講義 演習	1		1	
		融合応用情報学D	講義 演習	1		1	
		知的財産論	集中講義	1		1	
		マネジメント論	集中講義	1		1	
		マーケティング論	集中講義	1		1	
		融合基礎工学特別講義A	集中講義	1	1		(3・4年次集中講義)
		融合基礎工学特別講義B	集中講義	1	1		(3・4年次集中講義)
卒業研究	必修	卒業研究	演習 実験	6		6	

[参考]久留米工業高等専門学校位置図



受験に関する問い合わせ先

久留米工業高等専門学校 学生課 教務係

住 所 〒830-8555
福岡県久留米市小森野一丁目1番1号

電 話 0942-35-9315 (学生課直通)
0942-35-9316 (")

FAX 0942-35-9319

ホームページ <https://www.kurume-nct.ac.jp/>

